



# プルタブを集めて車いすを頂きました

旧川上小学校でリサイクル運動が開始され  
 身体障害者クラブ「レッツ無限」から海南小学校に寄贈されました。  
 「車いす1台」につきプルタブ160万個 800キロ（100リットルドラム缶10本分必要）



## 海陽町議会だより

3月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164  
 編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **24** (2012.5)

おもな内容

東北視察報告	2P
当初予算	4P
副町長決まる	8P
一般質問	11P
みんなの広場	16P



川病院 (南三陸町)



(女川町)



一本松 (陸前高田市)



(気仙沼市)

驚愕の3・11からやがて1年が経とうとしていた2月21日。議会として、今後の防災対策や減災を考える上で、現地を知り、自らの目で復旧状況を確認するため宮城県沿岸部への視察をバス移動約500kmという強行ではあったが1泊2日で実施した。

昼過ぎに仙台空港に到着。バスに乗るなり瓦礫の山を目にする。高速道路に上がると見渡す限り何もなく、天変地異により荒野と化した農地が広がっている。今年の作付けは望めまい。

行けども行けども、あの映像で見た目を疑う惨状の痕跡が続く。津波が全てのものをのみ込み壊滅的な被害となり、日常を奪い去ったことを物語っている。荒涼感の漂う更地には、人影もない。未だ生活の再建もままならぬ現実、打ちのめされる思いを抱かずにはいられない。

内陸部に無惨な姿をさらす巨船。建物の屋上に乗ったままのバス。陥没による水溜まりや傾いたままの重機。激流にもまれ1階部分の破損がひどい住宅。鉄道復旧のめども見えない。途方もない時間との戦いを痛感する。

石巻市の大川小学校は児童や教職員84人が死亡、不明となった。みんな手を合わせながら、防災教育の重要性や初期対応、避難先の在り方の教訓を思った。

女川町では、完全横転のビルを見た。16mの高台にある町立病院の1階部分にまで津波は到達。地盤沈下により満潮時には平野部にも海水が流入し、港の復活も極めて困難との事である。

最後まで住民への避難を呼びかけ続けた女性職員のいた南三陸町。その防災対策庁舎で冥福を祈りながら、命の尊さを改めて考えさせられた。

気仙沼市は、大規模火災の発生。港を中心にした大きな被害。地震の時間帯によつては、火元への警戒も重要となってくる。

奇跡の一本松で話題となった陸前高田市。名勝の7万本の松も、ほとんど

[独自調査] 3.11 から約 1 年後の状況レポート

# 宮城、岩手沿岸部 現地視察報告



志津



(南三陸町)



北上川河口被災前



被災後



石巻市大川小学校



急峻と報道された裏山

**大**

川小学校は河口の長面海水浴場から直線で約4キロメートルの位置にあり、ハザードマップのエリア外であった。

この4キロメートルは、当町海部川では吉野橋のあたりに位置し、浅川伊勢田川では竹ノ内地区より上流、宍喰川では中里地区に相当する。それぞれ地形等条件は異なるが、想定外ということがないように、住民の防災意識の高揚と啓発に努めなければならない。



石巻湾被災前



被災後

**石**

巻日和山から石巻湾を望んだ時、石井漁港前には防波堤が整備されており、建物の倒壊が少なく構造物が残っており操業している施設もみられた。対照的に旧北上川の西側の石巻市立病院周辺は跡形もなく被災している。

防波堤のある背後地は効果が見られた。

が根元から折れ消滅。その地域を語り継ぐ文化遺産への対策や保護も課題として浮上している。

被災地の一部のみの視察。されど受けた衝撃は大きい。今回、私たち一人ひとりが肉眼で見たこの衝撃を今後のわが町の津波対策に生かす。今回の予算も高台への避難路整備に重点を置いている。地震が起こったらまず高台に逃げる。その時自分はどう行動すべきかを今から考えておく必要がある。

# 住民生活の安心安全に重点配分

平成24年度  
予 算

一 般  
会 計

# 61億6000万円

前年比+1億1300万円 5年振りの増

平成24年度の当初予算（一般会計、15特別会計、2企業会計）  
は審議の結果、すべて原案の通り可決しました。

## ふるるん君の家計簿

H24.3.31

住基人口 10,748人

（年間61万円だとしたら？）

アルバイト収入 （自主財源）
9万4千円

親の仕送り （依存財源）
51万6千円

学 費
（民生費：16万円）
（教育費：5万3千円）
21万3千円

貯 金
（予備費）（諸支出金）
2千円

食 費
（議会費：8千円）
（総務費：8万1千円）
8万9千円

奨学金などの返済 （公債費）
10万2千円



海部川風流マラソンキャラクター  
ふるるん

家 賃
（農林水産業費：3万8千円）
（土木費：6万6千円）
10万4千円

高熱水道費
（消防費：3万5千円）
（衛生費：5万4千円）
（商工費：1万円）
（災害復旧費：1千円）
10万円

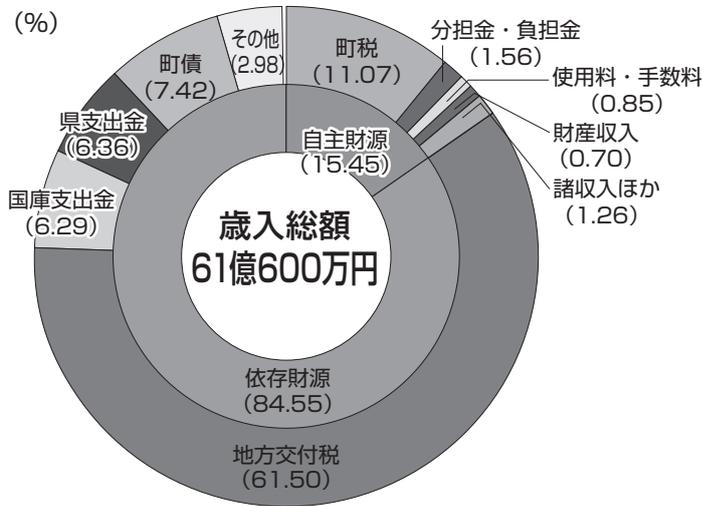
平

成24年第1回海陽町議会  
定例会が3月12日から16

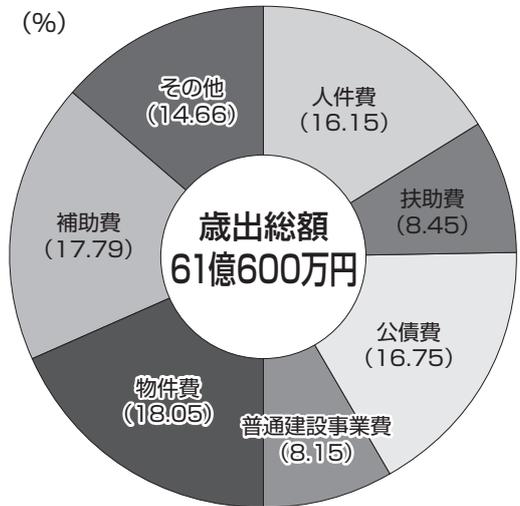
日まで開催され、平成24年度当初予算が可決されました。主な事業は、元気になる「和」事業、フルマラソン大会開催事業、太陽光発電設備設置費助成金、町産材活用住宅建築推進事業補助金、浅川橋・竹ヶ島橋耐震補強事業、耐震リフォーム支援事業補助金、津波避難路整備事業など地域経済の活性化や地震津波対策関係事業等、住民生活の安心安全を支える事業に重点配分した予算編成となっています。

また、平成23年度補正予算については、早急に実施しなければならぬ津波避難路整備事業や備蓄倉庫品整備事業などとなっています。

歳入



歳出



目的別歳出

<p><b>歳出総額</b></p> <p>61億600万円</p>	<p><b>議会費</b></p> <p>議員の報酬など。</p> <p>7,938万円</p>	<p><b>総務費</b></p> <p>役場の管理運営・財産管理・地域振興対策など。</p> <p>8億962万円</p>	<p><b>民生費</b></p> <p>社会福祉や生活扶助など。</p> <p>16億322万円</p>	<p><b>衛生費</b></p> <p>保健衛生、ごみの清掃、し尿処理など。</p> <p>5億3,731万円</p>	<p><b>農林水産業費</b></p> <p>農業・林業・水産業の振興など。</p> <p>3億7,869万円</p>	<p><b>商工費</b></p> <p>商業・工業の振興など。</p> <p>9,534万円</p>
<p><b>土木費</b></p> <p>道路・橋の建設、維持管理など。</p> <p>6億5,786万円</p>	<p><b>消防費</b></p> <p>消防・水防・防災対策など。</p> <p>3億5,474万円</p>	<p><b>教育費</b></p> <p>教育・文化・スポーツ施設の充実など。</p> <p>5億2,837万円</p>	<p><b>災害復旧費</b></p> <p>インフラ、ライフラインなどの復旧。</p> <p>1,244万円</p>	<p><b>公債費</b></p> <p>償還（借金返済）など。</p> <p>10億2,290万円</p>	<p><b>諸支出金</b></p> <p>寄付金、基金積み立てなど。</p> <p>1,341万円</p>	<p><b>予備費</b></p> <p>急な災害復旧など。</p> <p>1,274万円</p>

(※金額はすべて千円未満を四捨五入しています。)

# 国道55号の迂回路調査費に1200万円

阿佐東線に1億960万円積み立てる

**日** 本初のDMVの営業走行も視野に入れ徳島県、美波町、牟岐町、海陽町、高知県、東洋町等で総額4億2000万円の鉄道安定基金を5年間で積み立て、地域の公共交通としての阿佐東線を応援します。海陽町の負担金は1億960万円(26・1%)です。



**国** 道55号が不通となった時も利用できる迂回路として、以前より県に要望していた「県道芥附海部線」と「県道牟岐海南線」の調査費がつかまりました。総額800万円のうち、町負担金は1200万円(15%)です。

要望区間概要図



# 日本ランキング1位！海部川風流マラソン！！

**日** 本最大マラソンサイト「ランネット」の評価で平成23年の大会は96・1点で全国一位にランキングされ、今年2月に行われた大会も4月時点で98・2点、暫定一位となっています。参加費、協賛金、補助金等の収入も見込み、当初予算へ総額2810万円の計上となっています。



# 第1回定例会

## 議案の審議

平成24年第1回定例会は、3月12日開会、町長より次の45議案、(条例関係10件・承認関係3件・予算関係28件・人事関係3件・契約関係1件)が提出され審議の結果、原案どおり可決され、16日閉会した。

## 条例関係

- ・蛇王運動公園周辺施設整備開発基金条例
- ・税条例の一部を改正する条例
- ・職員定数条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・介護保険条例の一部を改正する条例
- ・まぜのおかオートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・町営住宅管理条例の一部を改正する条例
- ・町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険高額療養費資金貸付基金条例を廃止する条例
- ・介護従事者処遇改善臨時特例基金条例を廃止する条例

## 承認関係

- ・専決処分の承認を求めることについて
- ・指定管理者の指定について
- ・施設の名称
- ・デイ・サービスセンターさつき荘、デイ・サービスセンター城山荘、デイ・サービスセンターわしずみ荘
- ・指定管理者として指定する団体
- ・社会福祉法人 海陽町社会福祉協議会
- ・指定の期間
- ・平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
- ・指定管理者の指定について
- ・施設の名称
- ・実働保育所
- ・指定管理者として指定する団体
- ・社会福祉法人 海陽町社会福祉協議会

指定の期間  
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

## 人事関係

- ・教育委員会委員の任命について (同意)
- ・住所 海陽町神野
- ・氏名 東田 吉弘
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任について (同意)
- ・住所 海陽町浅川
- ・氏名 原 敏邦
- ・住所 海陽町芝
- ・氏名 惣田 清弘
- ・住所 海陽町久保
- ・氏名 長尾 桂一郎
- ・副町長の選任について (同意)
- ・住所 海陽町奥浦
- ・氏名 中張 茂

## 契約関係

- ・平成22年度浅川橋耐震補強工事変更請負契約について
- ・契約金額 1億395万円
- ・既決請負契約額 328万円
- ・増額請負金額 1億723万円
- ・計 1億723万円
- ・契約の相手方 大鉄工業(株) 四国支店
- ・工期
- ・議決のあった日の翌日から平成24年3月30日まで

## 予算関係

- (補正予算)
- ・平成23年度一般会計補正予算(第4号) 6億894万6千円 ↑
  - ・平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 1億248万6千円 ↓
  - ・平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 34万7千円 ↓
  - ・平成23年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 371万6千円 ↑
  - ・平成23年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 131万7千円 ↓
  - ・平成23年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 105万9千円 ↓
  - ・平成23年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 727万7千円 ↓
  - ・平成23年度海部簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 169万8千円 ↓

注釈 ↑ 増額  
↓ 減額

平成23年度上水道事業会計補正予算(第2号) 152万1千円 ↑  
平成23年度海南病院事業会計補正予算(第4号) 477万4千円 ↑  
(当初予算)

- ・平成24年度一般会計予算 61億600万円
- ・平成24年度国民健康保険特別会計予算 17億4600万円
- ・平成24年度国民健康保険施設勘定(実働診療所) 1億4157万円
- ・平成24年度後期高齢者医療特別会計予算 14億6242万円
- ・平成24年度介護保険特別会計予算 14億7818万円
- ・平成24年度浅川公共下水道事業特別会計予算 6867万4千円
- ・平成24年度海部公共下水道事業特別会計予算 1億7640万4千円
- ・平成24年度実働公共下水道事業特別会計予算 1億4662万9千円
- ・平成24年度神野農業集落排水事業特別会計予算 1015万3千円
- ・平成24年度川西農業集落排水事業特別会計予算 3214万3千円
- ・平成24年度日比原農業集落排水事業特別会計予算 964万円
- ・平成24年度漁業集落排水事業特別会計予算 1949万9千円
- ・平成24年度川西簡易水道事業特別会計予算 730万1千円
- ・平成24年度海部簡易水道事業特別会計予算 1億975万2千円
- ・平成24年度中里簡易水道事業特別会計予算 253万3千円
- ・平成24年度川上簡易水道事業特別会計予算 279万6千円
- ・平成24年度鉄道経営安定基金特別会計予算 4億2208万円
- ・平成24年度上水道事業会計予算
- ・平成24年度海南病院事業会計予算
- ・平成24年度上水道事業会計予算
- ・営業収益
- ・営業費用
- ・資本的収入
- ・資本的支出
- ・資本的収入 6272万6千円
- ・資本的支出 6222万6千円
- ・資本的収入 1億4303万円
- ・資本的支出 1億1700万円
- ・資本的収入 50万円
- ・資本的支出 2722万6千円

・平成24年度海南病院事業会計予算  
・病院事業収益 6億4235万円  
・病院事業費用 6億4235万円  
・資本的収入 8300万円  
・資本的支出 1億224万8千円  
(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1924万8千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんするものとする。)

# 副町長に中張氏



なかばり 中張 茂 59歳  
 住所 海陽町奥浦  
 略歴 前徳島県危機  
 管理部長

過日開催された、海陽町議会3月定例会において選任同意いただき、4月1日付けをもって副町長の仕事をさせていただくこととなりました。

現在、海陽町は、更なる行財政改革の推進、急速に進む少子高齢社会への対応、「和」の条例にもとづく第一次産業活性化に向けた取り組み、そして「東海・東南海・南海」三連動地震対策など、「待ったなし」で取り組むべき課題が多くあり、この大変重要な時期に重責を担うことに対し、身の引き締まる思いであります。

もとより微力ではありますが、五軒家町長をしっかりと補佐し、愛すべき故郷への熱い思いを胸に、精一杯の努力をしてまいります。

つきましては、町民各位のご指導とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

## 国保税率の改定!

近年の医療給付費の増額に伴い、平成24年度より国民健康保険税率が改定されました。所得割率が6.5%から7.4%に、均等割額が1万9000円から2万5000円に、また後期高齢者支援分の所得割率が15%から2%に均等割率が5000円から6500円にそれぞれ増額され、介護保険料も高齢化率の増加に伴い、基準額が5200円/月から5500円/月に増額されています。国保、介護保険ともに所得や各階級により改定額が異なりますので、詳しくは保健福祉課(電話73-4312)までお問い合わせ下さい。

## 意見書

四国地方整備局および各事務所の存続を

求める意見書

提出者

叶岡

他4名 徹

## 議会のしごき

1月1日から3月31日まで

### 1月

- 11日 議会広報編集特別委員会
- 16日 徳島県町村議長会理事会(徳島市)
- 20日 議会広報編集特別委員会
- 26日 議会全員協議会

### 2月

- 2日 徳島県町村議長会役員会(徳島市)
- 6日 市町村トップセミナー(徳島市)
- 10日 全国過疎地域自立促進連盟理事会(東京都)
- 21~22日 東北地方太平洋沖地震災害復興実地研修(宮城県・岩手県)

### 3月

- 24日 第63回徳島県町村議長会総会・「自治功労・町村議会表彰」(徳島市)
- 29日 東みよし町・美波町議会広報合同研修会(海陽町)
- 5日 議会全員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 12日 第1回定例会(1日目)
- 12日 産業建設常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 総務常任委員会
- 14日 文教厚生常任委員会
- 15日 第1回定例会(2日目)
- 16日 議会運営委員会
- 23日 第1回定例会(3日目)
- 徳島県町村議長会理事会(徳島市)

# 津波対策 避難路の整備

南海地震の津波被害が想定される当町沿岸部では、一刻も早い高台への避難が重要と

考えられ、県、町と共に高台への避難路整備に重点を置いた予算が組まれています。今

回は県営、町事業として鞆浦山下地区、浅川三浦地区、穴喰正梶地区、多良片山地区、奥浦妙見山等数カ所に避難路整備調査費がついています。完成後は近隣住民の命の道となりますので、いつでも使えるように自発的な整備ケアをお願いします。



## 3月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	補正前	3月補正	構成比率	歳出	補正前	3月補正	構成比率
町税	6億9,347万2千円	0	9.8	公債費	11億6,895万1千円	4億9,945万9千円	23.5
分給金・身代金	1億1,802万2千円	▲1,593万8千円	1.4	民生費	16億3,839万円	▲1億499万円	21.6
使用料・手数料	5,302万9千円	▲10万円	0.7	総務費	7億4,900万円	▲1,537万4千円	10.3
繰入金	35万円	0	0.0	教育費	6億5,990万1千円	▲1,576万6千円	9.1
繰越金	1,058万4千円	1億7,295万1千円	2.6	消防費	3億9,074万8千円	1,431万2千円	5.7
諸収入	6,255万8千円	390万円	0.9	衛生費	4億8,454万5千円	1億1,138万4千円	8.4
地方譲与税	7,100万円	0	1.0	農林水産費	5億5,678万4千円	▲964万6千円	7.7
地方交付税	38億590万3千円	5億18万6千円	60.6	土木費	3億3,568万4千円	▲433万1千円	5.4
国庫支出金	3億4,238万5千円	▲472万1千円	4.8	商工費	1億7,212万4千円	116万4千円	2.4
県支出金	5億6,936万8千円	370万4千円	8.1	議会費	9,232万4千円	2万円	1.3
町債	4億9,490万円	1,930万円	7.2	その他	1億1,526万2千円	2億1,323万円	4.6
その他	1億9,214万2千円	1,018万円	2.8	合計	64億1,371万3千円	6億8,946万2千円	100.0
合計	64億1,371万3千円	6億8,946万2千円	100.0				

※歳入のその他内訳

財産収入	6,539万2千円
利子割交付金	282万円
配当割交付金	100万円
株式譲渡所得交付金	52万円
地方消費税交付金	8,905万円
自動車取得税交付金	1,290万円
地方特例交付金	1,890万円
交通安全特例交付金	150万円
寄付金	1,024万円

※歳出のその他内訳

災害復旧費	9,891万9千円
予備費	1,293万3千円
諸支出金	2億1,664万円

## 人事案件に同意



東田 吉弘氏

教育委員会委員の任命

任期満了にともない、現職である東田吉弘氏（54歳）を任命することに同意しました。任期は5月28日から4年間です。

# 海部川風流マラソン・阿波尾鶏 日本一

町長 五軒家 憲次



海部川風流マラソン

東日本大震災から1年が過ぎた。いずれの場面を見ても苦悩や悲運といふのか、様々な葛藤が渦巻いている。福島原発も完全な廃炉まで40年かかり、遠い遠

い先の話の感がする。そうした中で我が町だが、原発からは遠隔地にある。しかし、自然の脅威は対岸の火事では決してない。平成22年5月防災館がオープンし、自主

防災組織も100%できた。目指してきた津波に対応するハード面は第一ラウンドはクリアできた。それもつかの間、3・11から第二ラウンドに入っている。

三陸の高速道が映像によって命の堤防になったことが立証された。県知事も国道55号を調査区間から進めてくれと政府に対し、強く要望してくれている。

また、県道芥附海部線、海部川の液状・高上げ等、大里海岸の土盛り・土塚の未整備の続行等、県がしてくれることになった。

日本一になったのが2つあり、一つは阿波尾鶏。名古屋コーチンを抜いて数量とも日本一。

もう一つは海部川風流マラソン。23年度のランナー投票で96・1点取っており、全国500程度のマラソンがあるが、最

高点である。

DMV、ハードルは非常に厳しいが、全力投球して是非とも一番に開通できればと考えている。



DMV

インディゴソックスの春期キャンプを3月1日から1週間、町も協力した。交流試合は雨天のため中止になったが、24年に交流試合、25年には公式試合に組み入れたいと言われている。「巨人・大

鵬・卵焼き」というのが流行ったが、「インディゴ・蛇王・阿波尾鶏」「インディゴ・海部マラソン・阿波

尾鶏」と、本町から発信できればと考えている。

23年度の決算もプラスになることは間違いない。5、6年で約20有億円のプラス上積をした。どのように活用するか熟慮したが、特別基金として積み立てたい。総額10億円、期間10年、対象者は義務教育終了まで、用途は出産、子育て、医療等で、委員会を立ち上げ、6月には条例、あるいは予算化の方向をたどりたい。

「和」の第一次産業事業を本町ではこれしかないやっだが、今だに形が見えてこない。職員と私との意思疎通ができていないと厳しい酷評をされる。余地もない。私の指導力の欠如と言わざるを得ない。

また、県の事業であった限界集落の対応も本町が引き継ぐ。もう一度心機一転、再スタートするので、より厳しくご指導

願いたい。

デイサービスセンターのさつき荘と城山荘の統合。併せて、宍喰保育所と恵の園の統合について、施設、園児数等、諸課題について検討を重ねている。

国民健康保険税を10%、介護保険料1・7%、後期高齢者医療10%程度のアップをす

る。できるなら上げたくないが、現状の収支からしてやむを得ないのでご理解していただきたい。

防災・減災は一朝一夕にできるものではない。国やマスコミ、専門家や評論家の意見は参考にしてもらいたい。全てではない。各自、各家庭が避難路・避難場所を判断し迅速に逃げる、行政は的確な情報しかない。これが生命線である。「三つ子の魂百まで」と言うが、学校教育を徹底的にやっ

# 一次避難箇所の要望は？



叶岡 徹 議員

〈企画防災課長〉避難場所等で17カ所、  
備蓄倉庫等で8カ所



避難訓練（海陽中学校）

**問** 東北大震災視察に行き、現況を見て一次避難の重要性を改めて認識した。現在、各防災会および町内から一次避難箇所の要望はどれぐらいあるのか。

**答** 谷岡企画防災課長  
避難路改修、避難場所

等で17カ所の備蓄倉庫等の設置については8カ所の要望をいただいている。今後地元の方の要望等も聞きながら、計画的に整備を進め充実させていきたい。

## 高規格道路の進捗状況は？

〈町長〉県知事も国に陳情してくださった

**問** 55号の高規格道路の進捗状況はどうなっているのか。また、私たち議員が、自費で国への要望活動をしてはどうか。芥附海部線（海部から穴喰）に500万円の調査費がついたが早急に進めてもらいたい。

**答** 五軒家町長  
国は費用対効果が最優先だと言ってきたが、震災の映像で見直しになったのは事実。3月7日に県知事も国に陳情してくださった。動いて、動いて、動いている。芥附海部線は調査に入っているが、用地問題で挫折しないようにしたい。

## 海部高校卒業生からの採用は？

〈町長〉検討はしたい

**問** 行政改革プランが示されたが、少子高齢化対策として、海部高校の卒業生の中から就職希望者を役場職員として、町独自で何名か採用してはどうか。その人たちが将来結婚もし、子どもも生まれれば、有効な人口減対策になると思うが。

**答** 町長  
いい提言であるが、公平・公正の原則からして難しい。

い。やはり成績で勝負というのが基本。また、秋入学という大学も話題を呼んでいるが、採用試験も春は全国レベルで、秋には地元でというような二段階方式も考えられる。いろいろ検討はしたい。

**問** 人材育成、専門知識の向上という形で、同じ課で働いている年数の長い職員がいる。3年から5年で職場を変更するのがいいと思うが。

**答** 町長  
3月31日付けで退職する、成田愛治環境衛生課長、長い間町民のために働いてくださって、ご苦労様でした。退職しても町民のためによくお願いいたします。

**答** 町長  
全てを把握するのは大事で、その意見には賛同するが、長期がベターな担当もある。一番の審判は住民。評価に値する職員になるよう進めている。

# 家庭用防災シェルターの導入は？



高島 武夫 議員

## 〈町長〉二刀流として検討する

**問** 難津波高浸水予想図後の町立学校の対応は。また、防災教育上「津波てんでんこ」の扱いはどうするのか。

※「津波てんでんこ」とは？

岩手県の三陸海岸地域にある津波防災伝承の一つ。防災教育として解釈すると「津波が来たら、取るものも取り敢えず、肉親にも構わずに、各自てんでんこらばらに一人で高台へと逃げろ」になる。  
また、自分自身は助かり、他人を助けられなかったとしてもそれを非難しない、という不文律にもなっている。

**答** 福井教育長

垂直避難（校内）、水



津波避難訓練（突喰小学校）

平避難（近くの高台）を避難場所として訓練を重ねている。  
津波対策三原則「想定にとらわれるな」「最善をつくせ」「率先避難者になれ」。この「率先避難者になれ」というのが「津波てんでんこ」である。自分だけ助かればいいという利己的なものではなく、みんなで助かるうという共助的な意味だと指導するように、学校に伝えている。

**問** 津波高浸水予想図後の対応と津波避難タワーの対策、また、津波後の住民の避難所、仮設住宅建設地、食料・医薬品・燃料などの備蓄、また広い海陽町に運搬手段・配布などの総合的な計画は立てているのか。

**答** 谷岡企画防災課長

県が避難場所の標高調査、国土地理院も沿岸部より約5km程度の標高データを取る。それを活用し、今後ハザードマッ

プ・津波避難計画・地域防災計画の作成を進めた。  
タワーについてはステージを高くするなどの整備は、津波高・浸水予想図と整合性を図り、周辺住民と協議を行い検討を進めたい。

**問** 災害時要援護者（避難が困難な高齢者、身障者、乳幼児等）の対策として、家庭用防災シェルターの導入はできないのか。

**答** 五軒家町長

避難タワーの設置できない場所はそういう方法もある。設置するならば二刀流というか、シェルター、救助艇もいいのでは



防災シェルター

ないか。また家庭用も検討すべき。ただ、町が配布、購入の援助、サポートするか検討せねばならない。

**問** 突喰地区は海岸の国道55号で津波からも守られている地形である。暫定津波高では、ゆうに超えてくる。液状化対策はされたが、津波の圧力に耐えられるのか心配である。

釜石の津波防波堤は崩壊したが、津波高を4割6分の時間稼ぎ、最大遡上高（遡る区域）を5割減少させたとのデータもある。  
住民が少しでも安心してきるよう、大手海岸沖に離岸堤が必要と思うかどうか。

**答** 町長

沖合の命の堤防を作ることはいいことであるが、浅川の例にしても、事業については国・県との折衝に時間を要する。意見を踏まえ検討する。

# ドクターヘリのランデブーポイントの確保を!!



原 ひろみ 議員

〈企画防災課長〉協議し、場所の確保に努めたい

**問** 今年10月にドクターヘリの導入が決定した。海南消防署では年間570件の救急出動がある。遠隔地に住む住民にも安全安心の生活を与えるためにも、また三連動震災の予想される今、津波にも安全で災害による孤立化対策も含め、砂埃防止の水まきをしなくても良い所で、周辺に障害物もなく、安全にドクターヘリが降りられる場所にランデブーポイント（ヘリと救急車の合流地点）を設置する必要がある。

県がドクターヘリを導入する前に町は十分調査し、場所の確保と救急車が安全に通れる道路の整備等を県に對し要望提案すべきであるが、町としての見解はどうか。

**答** 谷岡企画防災課長  
10月頃より予



ドクターヘリ

定されているドクターヘリの運航については「住民の安心・安全の確保」として、大きく貢献していただけるものと考えている。

現在、防災計画の中では11カ所の「災害対策用ヘリコプター降着適地」を指定しているが、ランデブーポイントとして利用できるかどうか。また、それ以外にも適地があるかどうかも含め、県や消防組合と協議をしながら、場所の確保に努めてまいりたい。

## 自転車の交通安全対策を!!

〈教育次長〉  
学校・警察・安全協会と  
連携し計画をしている

**問** 全国で自転車事故が増加している。旧海南・海部中学校の合併により、海陽中学校に自転車通学者が増えていく。いつ遭遇するかわからない交通事故を未然に防ぐため、安全安心の意識向上、危険を予測し回避する能力を向上させる必要がある。被害者にも加害者にもならないために、新しく変わった道路交通法や自転車に乗るための注意事項を勉強しなければならぬ。学校だけでなく、町民全体にも安全教育を普及するよう、警察や安全協会のご協力を得、事故防止の計画を立てるべきだ。現在の程度

計画を立て実行しているのか。

**答** 畦内教育次長  
保護者からも登下校の通学時の安全について心配の声は教育委員会にも届いている。教育委員会でも学校に向けて自転車通学の安全について十分指導をするよう指示をしている。

小学校では自転車安全教室の実施、中学校においてはPTAでの立哨指導、また、自転車の整備点検等を行っている。自転車の登下校時の通行について、教育委員会としては、基本的には歩道を通るよう指示をしている。

町全体の自転車事故防止安全教育については企画防災課で牟岐警察署と町交通安全協会と連携し計画をしている。

## ふるさと納税の推進を!!

〈総務課長〉積極的に  
PRに取り組んでいく

な人と人との絆こそ、今後の世代に伝えていくべき大切なものである。今後も積極的にPRに取り組んでいく。

**問** 平成20年は169万5000円から平成23年は18万円と減少するばかり。子どもたちの明るい未来のため、故郷を応援していただけるよう、もっと力を入れるべきだ。納税の仕組みの分かるパンフレットの作成や、広報や議会広報を発信したり、納税者に特産品を贈るなど、もっと斬新な企画が必要であると思うが、町の対策は。

**答** 浦川総務課長  
ふるさと納税の制度が複雑であり、国の制度上やむを得ないが、伸び悩んでいる要因でもある。他の市町村にはない特徴的なことは、海部川風流マラソンの参加者から、ふるさと納税をいただいた。このよう

海陽町議会では、総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案を3月12日、13日、14日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

## 総務常任委員会

**阿** 佐鉄基金  
4億2000万円積立

委員長 戸田眞理子

3月13日開会。海部地区の避難路2カ所を巡視。続いて、定例会上程の所管事項についての説明を受けた。

海陽町職員定数条例の一部を改正する条例は、現行の条例数と実数との隔たりの解消で、職員数を214名から175名へと改めるとのこと。

平成23年度一般会計補正予算は、歳入歳出予算に6億8946万2000円を追加し、71億31



妙見山避難所

7万5000円とする。津波対策費の中には、主に避難路等の整備をする地域に対しての資材費や機械の借り上げ料も

計上しており、今後も継続する。

平成24年度一般会計予算は、歳入歳出予算の総額を61億600万円と定め、対前年比1億1300万円の増額である。総務費も、鉄道経営安定基金特別会計への繰り出し金

1億960万円（基金積立金4億2000万円のうちの本町負担分。平成23年度の赤字見込額7000万円）や、フルマラソン大会運営費を補

正ではなく、当初予算で計上したこと等によることであった。町長より意見を求めら

れた特別基金の創設。義務教育終了までの子どもを対象とし、総額で10億円。年1億円で10年間継続する事業に関しては、できるだけ早い時期の創設と、今後の成果を大いに期待して、全会一致での賛成となった。

## 文教厚生常任委員会

### 保険料値上げ

委員長 南谷 輝幸

3月14日開会。

○保健福祉課予算

国民健康保険税の改正。内容は医療分として

均等割1万9000円↓2万5000円。所得割6.5%↓7.4%。

後期高齢者支援金分、

均等割5000円↓6500円、所得割1.

5%↓2%。

介護分、均等割1万円

↓1万1000円。所得

割1.9%↓2.3%と約

10%増となる改正。

また、介護保険料の改

定は、標準所帯で月額

5200円↓5500円

と3000円の値上げにな

り。今年度より医療費

抑制一環として、特定検診の検診率の向上と検診

の継続のため、自己負担金1000円を無料化する。

○教育委員会予算

地域スポーツクラブの

育成、障害者、子ども、

高齢者を対象としたレク

レーションスポーツで、3

B体操、太極拳、アキア

ピクス、キッズスポーツ、

ダイエット教室、フラダ

ンス教室等を行う。

子ども預かり事業につ

いての要望等は、放課後

子ども教室を今後も実施

し、福祉課で行える児童クラブ事業等も今後検討

していきたい。

○海南病院関係予算

新しく大腸ファイバー

機器を購入し、早期予防

と検診等の向上に努める。

○住民人権課予算

松原集会所、輛浦福祉

会館等修理510万円。

○環境衛生課予算

海部葬斎場の炉、バー

ナー等の補修500万円。

○今年度よりの検討項目

①デイサービスセンター

さつき荘、城山荘の統合

②穴喰保育所、恵の園保

育所の統合。少子化によ

る子どもの減少、平成25

年度末までに地元保護者

住民等の意見集約を図

り、方向付けを行う。



アクアビクス (B&G 海南海洋センター)

## 産業建設常任委員会

### 浅川・竹ヶ島橋耐震補強

委員長 見吉 政貴

3月12日開会。

蛇王運動公園周辺施設

整備基金条例改正は、海

部下灘観光協会が一般財

団法人となったことに伴

い、町に対し3年間で

3000万円を寄付する

改正。

ませのおかオートキャ

ンプ場の設置および管

理に関する条例改正

は、住宅コテージを2棟

増築したので、その利

用料を1棟につき1日

1万7000円とする条

例改正。

3月補正予算について

は、徳島インディゴソッ

クス春期キャンプ受入に

対する下灘観光協会への

助成113万円。トンネ

ル工事追加工事負担金  
258万円。

平成24年度一般会計

予算主なものは、ゴミ

収集委託料2470万

円。ゴミ処理費負担金

1億830万円、し

尿分海部衛生負担金

5500万円。「和」事

業町産材活用住宅建築推

進事業費5棟分500万

円。緊急雇用事業費5

事業で2217万円、

6名雇用。大井堰改修

事業町負担金420万

円。24年度竣工予定の伊

勢田トンネル工事町負

担金1200万円。地

震対策浅川橋、竹ヶ島

橋耐震補強工事請負費

2億5000万円。公

共下水道事業、浅川公

共下水道維持管理費



工事中の伊勢田トンネル

6860万円。海部下水

道事業費1億7350万

円。穴喰公共下水道事業

1億4660万円。農・

漁業集落排水事業は、維

持管理予算で例年並み

とのこと。簡易水道予

算についても、維持管

理経費を中心とした経

費である。上下水道事

業会計予算は、海南・

穴喰地区の給水件数約

4200件。事業収益は

1億4303万円とのこ

と。

四国地方整備局および

各事務所の存続を求める

陳情について審議し、全

会一致で了承し、採択す

ることとした。



お手玉クラブ わらべ会

活動内容を  
教えてください。

毎週水曜日、宍喰町  
民センターで午後1時  
30分から午後2時30分

まで練習しています。  
メンバーは宍喰地区婦  
人会の会員13名で、平  
均年齢は70才です。

婦人会行事、文化祭  
やその他イベントに参



リズムに合わせて

加しています。

海陽町の  
いらゆるは？

自然が豊かで温暖な  
気候、自然災害が少な  
く住みやすい。人情豊  
かで明るい町民性がい  
い。

海陽町に対する  
要望はありますか？

練習場所の床タイ  
ルががれて、危険を感  
じます。この場所しか  
施設がなく不便利です。

議会だよりを  
読んでいますか？

関心を持って読んで  
います。読みやすく議  
会のことがよく分か  
ります。

一般質問する議員さ  
んが毎回同  
じ顔ぶれの  
ように思  
います。

編  
集  
後  
記

春の息吹を感じさせる気候となり、それぞれの学校の  
入学式、また新入社員の希望に満ちた誓いの言葉、  
意気込みに、若者の将来が楽しみである。

一方、東日本大震災から1年が経過し、町議会も現  
地を視察して想像を絶する悲惨な状況に驚くばかりで  
あった。復興には相当の年月がかかると思うが、被災  
された皆さんが絆を強くし、復興に頑張ってくれるこ  
とを願っている。

今回の震災を教訓に、30年以内に起きるであろう南  
海・東南海・東海地震で、県下で一番高い津波が海陽  
町内の20・3mと想定されている。町民が安全で安心  
して暮らせる対策が急務であり、特に自主防災の取組  
が重要であることを痛感した次第である。

最後になりましたが、今回で編集委員は改選となり  
ます。町民の皆様方には色々ご協力、ご指導いただき  
ありがとうございました。次回からもよろしくお願  
いいたします。



議会広報編集  
特別委員会  
委員長 三浦 茂貴  
副委員長 池下 嘉郎  
委員 叶岡 徹  
原 ひろみ  
小山 慎  
長尾 正大  
議会事務局  
TEL 731464